

「2010 年秋季学術講演会」企画に当たって

応用物理学会講演会企画運営委員長 堀 勝

長崎大学文教キャンパスで開催される 2010 年秋季第 71 回応用物理学会学術講演会では、18 の大分類分科と 1 つの合同セッションで一般講演 3,457 件、24 テーマのシンポジウムなどの招待講演 597 件の合計 4,054 件の発表が、42 の口頭講演会場とポスター会場（総合体育館）で行われます。半導体、光、量子エレクトロニクス、超伝導、有機分子・バイオエレクトロニクス、薄膜・表面、結晶工学、量子エレクトロニクス、放射線、プラズマエレクトロニクスなど、応用物理学に関連する多くの分科で先端的な研究成果の発表がなされる予定です。

日本経済は一時期の不景気状態からやや回復傾向にあり、講演件数に関しましては過去 5 回の秋の講演件数とほぼ同数となっており、関係者一同胸を撫で下ろしているところでもあります。成果発表の場として会員の皆様为本講演会を大事にしている現われと感謝しております。

今回の講演会でも応用物理学会論文賞、講演奨励賞、放射線賞、プラズマエレクトロニクス賞、有機分子・バイオエレクトロニクス分科会奨励賞などの受賞記念講演、分科内招待講演などの他、各シンポジウムで招待講演が行われます。特に、応用物理学会の企画による特別シンポジウム「レーザー：生誕から半世紀を経て、新時代を切り拓く究極の光を求めて進化し続けるその魅力とは？」では、レーザー 50 周年を機会として、半世紀の間に深く日常生活に入り込み、なお進化を続けている「レーザー」を理解し、その現在と未来の姿を考えてゆくため、最先端のレーザー研究・装置開発・応用技術を専門とする研究者の方々にご講演頂きます。

もう 1 件の特別シンポジウム「グリーンプラズマテクノロジー-地球再生を目指した最先端プラズマ科学技術-」では有害物質による環境汚染、CO₂ の増加に伴う地球温暖化など環境問題の克服に向けた「グリーンプラズマテクノロジー」を取り上げ、地球再生を目指した先端分野におけるプラズマ技術の最新動向について議論します。

応用物理学会スクール 1「有機デバイス研究のための有機薄膜学入門」、2「科学啓発教育活動入門」を開催します。1 では、有機薄膜の研究者に、有機薄膜の特長、成長機構、薄膜構造、その制御方法、デバイス設計に必要な要件など基本に立ち返って、「有機薄膜学」と題して講義を行って頂きます。また 2 では、より効果的に質の高い理科教室を企画・運営できるように、ノウハウを伝授することを目的とし、これまでのリフレクシュ理科教室などで評判のよかったテーマを 4 件とあげます。

また前回に引き続き応用物理学会人材育成・男女共同参画委員会企画による「博士のキャリア相談会」を開催します。企業や研究所、応用物理学会人材育成・男女共同参画委員会社会貢献部門のキャリアアドバイザーの方々や学生・ポスドクの就職・進学等の相談に乗ってくれます。

展示会会場（総合体育館）では、3 日目の 9 月 16 日（木）にナイトセッションが行われます。軽食・飲み物が無料で提供されますのでぜひご参加ください。また、無線 LAN の提供、DVD のプリンターコーナー、コピー無料サービスなどがあります。託児室の設置も継続します。参加者にとって有意義で楽しく充実した学術講演会になるよう願っております。

最後になりましたが、講演会場をご提供いただいた長崎大学、ならびに現地実行委員としてご協力頂いた関係者の先生方に深く感謝いたします。